

元々、韓国に興味があり、大学生になったら海外研修や留学をしたいと考えていたため、去年も今年も迷うことなくプログラムに応募しました。去年は抽選の結果行けませんでしたが、今年 KSS に参加できて本当によかったと思っています。旅行は何回か行ったことがあります。学校の寮に泊まって、韓国語の授業を受け、みんなでさまざまなプログラムに参加し、韓国人のスタッフ、全国各地の学生と交流できるような経験は、ただ観光で韓国に行くのではできません。KSS に参加してできた体験は一生の思い出になると思います。そんな KSS について振り返って紹介します。

・8/6 入国日(プログラム前日)

県大からは、私と看護学部 3 回生の先輩の二人の参加で、プログラムまでに一回しか会ったことがなかったので不安でしたが、すぐに打ち解けて、寮生活でも一緒に部屋でとても仲良くなれたのでよかったです。釜山に着くと韓国人のスタッフが迎えてくれ、日本語が驚くほど上手でこれからの生活の不安はすぐにはなくなりました。寮はとてもきれいでセキュリティもしっかりしていました。韓国ではシャワーとトイレが一緒になっているタイプが多いので、その点は日本人には慣れないかもしれませんが、バスマットやシャワーサンダルなどを買って対策すれば使いやすくなるし、毎日の寮生活からも文化の違いを感じる事が出来ました。昼食は、大学の近くにある釜山の名物、ミルモン(冷麺に似ているが原料が小麦)のお店に連れて行ってもらいました。とても暑い日だったのでさっぱりとしたミルモンがぴったりでした。そのあとは大学から歩いて約15分のところにある繁華街の南浦洞(ナンポドン)に連れて行ってもらい、両替をし、生活用品を買ったりしました。

・8/7(プログラム 1 日目)

午前中は KSS 全体での開始式があり、初めて参加学生と韓国人スタッフが全員そろいました。そのまま 1 班～4 班に分かれて(ひと班に日本人 10 人程度と韓国人スタッフが 5, 6 人という構成でした)シティツアーで私の所属する 1 班は南浦洞に行き、プサンタワーのある公園に登ったり、とても暑かったのでピンスという韓国のかき氷を食べたりしました。夜はチキンを食べ、韓国人たちはビールと焼酎を割ったソメク(ソジュ=焼酎とメクチュ=ビールの略)という飲み物で盛り上がっていました。韓国の飲み会はゲームなどをしながらするそうで、期間中で色々なゲームを教えてもらい、みんなの距離もすぐ縮まりました。

・8/8(プログラム 2 日目)

初日に行ったテストをもとに3つのクラス分けをし、この日から午前中の韓国語講座が始まりました。私は初級のクラスで発音など一から習いましたが、今まで独学でやってきたのとは違い、韓国人の先生に直接教わることで正しい発音を学べたり、とてもわかりやすく教えていただき、ゲームなども交えてとても楽しい授業でした。午後はサムルノリという韓国の伝統楽器体験を行いました。それぞれの楽器のリズムは簡単だけど、合わせると一つの音楽になってとても華やかな演奏でした。夜は西面(ソジョン)という釜山で南浦洞と並ぶ繁華街に行き、チムタクというじゃがいもなどの野菜と鶏肉と春雨の辛い煮物のような料理を食べました。二段階の辛さを食べましたが、普通も辛い味も両方辛かったです(笑)。辛いもの好きの私は大丈夫でした。その後ソジョンの地下街は服などがとても安いので、少し自由時間を貰って買い物も出来ました。



(寮のトイレとシャワー)



(プサンタワーの公園に班で行ったとき)



(サムルノリ体験)

・8/9(プログラム3日目)

授業の後、学校近くのライスバーガー屋さんで班で連れてってもらいました。学校の近くは安くて大きいサイズのコーヒー、シェイクなどがあるカフェが沢山あり、安く軽食が食べられる店から居酒屋まで色んなお店があって、学生に嬉しい店が多いです。昼食後ですが、午後は韓国料理体験でチヂミと、プルコギを作りました。食べてばかりですが、おいしいのと、せっかくだからと思うと食べられます(笑)。夕方からは、韓国のカラオケ(ノレバン)に班で行きました。今までずっと行ってみたかったので韓国人のみんなに連れてってもらえてうれしかったです。韓国人スタッフが日本の歌(雪の花やマルマルモリモリ)を歌ってくれて驚いたし、みんなで盛り上がって楽しかったです。

・8/10(プログラム4日目)

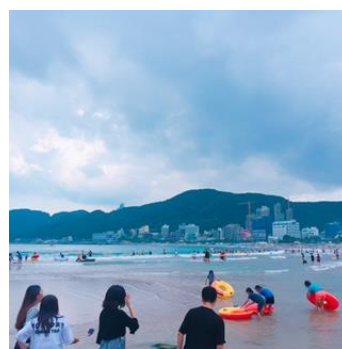
授業のあと、午後からは韓国の焼酎(ソジュ)の工場見学にいき、おみやげでなんとひとり2本もソジュをいただきました。このデソンという種類のソジュは今まで聞いたことがなかったけど、釜山では有名ならしいです。そのままバスで松亭(ソンジョン)海水浴場にいき、水着もなかったしただけ濡らすつもりが、子供の様にはしゃいでスタッフに落とされ、びしょびしょになってしまいました。それもいい思い出です。



(韓国のカラオケ、ノレバン！！)



(焼酎工場)



(プサンといえば海です！)

・8/11~12(プログラム5日目6日目 一泊二日慶州ツアー)

11日の午後から12日にかけては一泊二日で釜山より少し北にある慶州というところに行きました。慶州は日本でいうと京都の様に歴史的な建物があり、韓国国内からの旅行者も多そうでした。仏国寺という有名なお寺の中を巡ったり、パードパークにいて鳥と触れ合ったりできました。夜はレクリエーションがあり、前日から練習していたダンスの披露をしたり、スタッフが準備してくれたゲームなどを全員でやり、とても盛り上がりました。私達1班はダンスやゲームの得点で優勝したのでバイキング無料券をもらいました。みんなで前日からダンスの練習を頑張っていたのでうれしかったです。また、5、6日してくるともちろん班の仲は強まるし、ほかの班にもたくさん友達ができ、特にこの慶州で班を超えてKSSのメンバーと仲良くなれたと思います。



(1組メンバーと仏国寺にて)



(韓国人スタッフが TWICE を披露してくれました)



(他の班の子たちとも仲良くなりました)

・8/13(プログラム7日目)

日曜日のこの日は1日自由時間でした。私はルームメイトやほかの班の友達と釜山にいったら行きたかった甘川文化村(カンチョンムナムウル)に行きました。ここは、一般市民が住んでいる家だけとてもカラフルな家が並んでいる地域で、いい写真がたくさん撮れました。釜山に来たらここは本当におすすめします。午後からは、韓国人スタッフの運転でドライブに行きました。こんな経験も普段絶対できないのでよかったです。夜は韓国のサウナ(チムチルバン)にも初めて行って、盛りだくさんの1日になりました。

・8/14(プログラム8日目)

お昼は釜山で有名なテジクッパを食べました。辛くなくてお肉のダシがよく出ていて優しい味のスープです。韓国の人は二日酔いの日などによく食べるそうです。午後からはK-POPダンス体験で防弾少年団の激しいダンスを練習しすごく汗をかきました。

・8/15(プログラム9日目)

この日は授業もなく、朝から班で海雲台という釜山で有名なビーチがあるところに行きました。海は日本では泳ぐのが禁止になるくらい波が激しかったけど、うきわごと波にのまれてひっくり返ってびしょびしょになるくらい楽しみました。海雲台もまた釜山に来たら行きたいです。



(甘川文化村)



(ドライブ～)



(海雲台の海で遊んだ後に食べたソルビン)

・8/16(プログラム10日目)

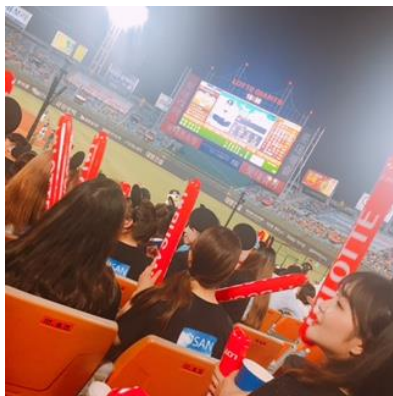
夕方から韓国の野球観戦にいきました。最初はそんなに期待していなかったのですが、期間中のなかでも上位に入るくらい楽しかったです。スタッフが作ってくれた耳をみんなで付けて、おそろいの KSS T シャツを着て、チキンやピザを食べながら応援するのは最高でした。韓国の野球は見たことも想像もしたことなかったけど、ライブのようですごく盛り上がりまます。ロッテジャイアンツというはじめて知ったチームだったけど本当に楽しくて応援に力が入りました。

・8/17(プログラム11日目)

この日は午後から韓屋(ハノク)という伝統的な建物で60人分のビビンバを作り、絵付けや鏡作りなどを行いました。みんなそれぞれの個性センスが光るものを作っていておもしろかったです。夜ご飯は、慶州で一位になったご褒美のバイキングを食べに行きました。ご褒美のご飯はより一層おいしかったです。

・8/18(プログラム12日目)

この日は最後の授業で、今まで習ったことのインタビューテストを受け、最後なのでゲームをし、勝ったので先生がアイスを買ってくれました。短い間だったけど先生はわかりやすく教えてくれて、韓国語の能力も少し上達したと思います。これからも勉強を続けていきたいと思いました。午後は全体で修了式がありました。事前に班で準備していたプレゼンも成功し、サプライズで班のスタッフたちに感謝の気持ちとして歌とビデオを送りました。スタッフたちは泣いて感動してくれたし、私達も別れが辛くてずっと泣いていました。



(野球観戦)



(ピザとチキンが最高でした)



(個性が…)

長くなってしまいましたが、それくらい盛りだくさんのプログラムで、話したい思い出がたくさんできました。最終日はみんなとの別れが辛くてたくさん泣きました。KSS で仲良くなったみんなとは今でも連絡をとったりします。はじめ、知り合いがないところに行ったのが嘘のように仲良くなれました。KSS に参加して韓国の文化を体験し、色々な刺激を受けました。本当に参加してよかったと思います。



(韓国語の先生と)
(最終日に写真館で写真を撮ってもらいました)



(サプライズも大成功でした)

「K S S 参加体験レポート」

看護学部 3回生 細川真央

K S Sで過ごした2週間は私にとって本当に意味のある、一生の思い出に残る経験になりました。ソウルには何度か行ったことがありましたが、プサンに行くのは初めてで、その上2週間も海外に行くとなると正直楽しみという気持ちよりも不安の方が大きかったです。韓国語は少し読める程度でほとんど分からないし、韓国人スタッフや全国各地から来ている他大学との日本人学生とも仲良くできるのか、また、初めての寮での生活ということでルームメイトともうまくやっていけるのかなどたくさんの不安を抱えたままプサンに向かいました。

一日の過ごし方としては、午前中は韓国語の授業を受け、昼食はみんなで韓国人スタッフのおススメのお店に連れて行ってもらい、午後からは野球観戦やK-P O Pダンス体験、韓国料理体験、韓国伝統文化体験など、東亜大学の韓国人スタッフの方々が私たちのために一生懸命考えて用意してくださったプログラムに参加させていただきました。そしてプログラムが終わると、またみんなでご飯を食べたりお酒を飲んだり、カラオケに行ったりと、毎日が本当に過密なスケジュールではありましたが、それ以上に充実した日々を過ごすことができました。一日中韓国人スタッフの方だけでなく、日本人の学生とも一緒にいる中で、自然と仲良くなり、K S Sの期間に仲良くしてくれた友達というだけでなく、また会いたい、会いに行きたいと思えるような友達をたくさん持つことができました。これが私がK S Sに参加したことで得た、一番大切なものだと思います。

私は韓国語や韓国の文化についてもっと深く知りたくてこのK S Sに参加させていただきました。たくさんの方を韓国人の方と接する中で学んでいこうと思っていましたが、それは韓国人の方も同じで、私たち日本人と接する中で日本語や日本の文化について多くのことを学んでくれているようでした。私は学ばせてもらうだけの立場であると思っていましたが、そうではなくて、私たちも韓国人の方に日本について教えてあげられるのだということを知り、自分が何かの役に立っているということにとっても喜びを感じることができました。自分が他の国のことについて学ぶことができるだけでなく、それと同時に自分の国についても知ってもらうことができる、これが国際交流の素晴らしさだと感じました。

このK S Sを通して今まで以上に韓国のヒト、文化、歴史、言葉を身近に感じるできるようになりました。今回の体験がこれから先、何に役立つのかはまだはっきりとわかりませんが、自分にとってプラスのことになったということは間違いのないと思います。

もしこのレポートを読んでくださっている方でK S Sに参加しようか迷っている人がいたら、ぜひ参加してほしいと思います。

ありがとうございました。